

いきもの記

Vol.185 2026.6.4

生物教員 佐藤龍平

東京のカエル10種目・見つけにくきトップクラス シュレーゲルアオガエル

「シュレーゲルってまずその名前何なんだよ、外来種?!」そうっつこみたくなるシュレーゲルアオガエル。名前は変わっているが日本の里山に生息するれっきとした日本固有種だ。モリアオガエルと姿が似ていて、かつ田んぼにいるから、「サトアオガエルって名前の方が良かったんじゃないか」という発言をネット上で見て妙に頷いてしまう。ぼくは東京の東部で生まれ育ったので、シュレーゲルアオガエルに全く馴染みが無い。よし、探してみよう!

生き物を探し始めたいとき、まず最初に何をすれば良いだろう?ぼくの場合は決まっている。**まず生徒(卒業生含む)に聞くのだ!**うちの生徒は様々な分野の**いきものマスター**たちが揃っているから、色々教えてくれる。さっそくカエル班の卒業生のハルタに、観察できるポイントを知ってるか聞いたら、「ここが良いですよ」とすぐに教えてくれた。さすがー!

教えてもらった八王子市のとある場所に夜に行ってみると、あっさりと鳴いているオスを見つけることができ、**畔の上で堂々と鳴く様子**を撮影できた。

ところがだ。その後に自分で行って見た他の場所はどこも、シュレーゲルアオガエルの鳴き声はたくさん聞こえてくるのに、**ぜんぜん姿が見つけられない**。本やインターネットで調べてみても、そして現地で知り合ったカエルに詳しいおじさんに聞いても、みな「シュレ(略してそう呼ばれることが多い)は土の中で鳴くから、**鳴く姿はなかなか見れない**」というのだ。ハルタが紹介してくれたマル秘ポイントはいったいなんだったんだ?!なんでこんな良い場所を知ってるんだ?!本当に情報って大事だなあ…。いきなりお手軽ポイントを教えてもらっちゃって、なんだか申し訳ない気持ちになった。



大型の個体(たぶんメス)
メスはオスと出会うと土にもぐって泡状の卵塊を産む。卵は白色。



正面顔 サイズや色はアマガエルっぽいけど、鳴き声は全く違う(シュレはコロロツ、アマガエルはクワックワツ)



サイズ感 アオガエルの仲間は指の吸盤が発達していて、手が可愛い。
あきる野市6月



田んぼの畦で鳴く様子
この場所ではなぜか畦の上の方で堂々と鳴いていることが多かった。



シュレーゲルアオガエル *Zhangixalus schlegelii* のオス 八王子市5月
外国のカエルっぽい名前だが、れっきとした日本固有種。日本のカエルを研究したドイツの動物学者ヘルマン・シュレーゲルに由来。オスは田んぼの畦道などの土の中で鳴くことが多いため、鳴き声が聞こえてもなかなか鳴く姿を見ることができない。

東京の「緑色の」カエル3種類



シュレーゲルアオガエル
体長5cmほど。全体が黄緑一色のものが多いが、たまに黄色の斑点が入るものもいる。目の虹彩は黄色。アオガエル科。



モリアオガエル 体長7cmほど。背中に茶色い斑点が無いものもいて、そういうやつはシュレーゲルと見た目がそっくり。モリアオの方がサイズが大きくて、目の虹彩は赤色。アオガエル科。



ヒガシニホンアマガエル 体長4cmほど。シュレーゲルアオガエルによくアマガエルに似ていると言われるが、アマガエルは目の近くに黒い模様がある。アマガエル科。